

経営比較分析表

岐阜県 関ヶ原町

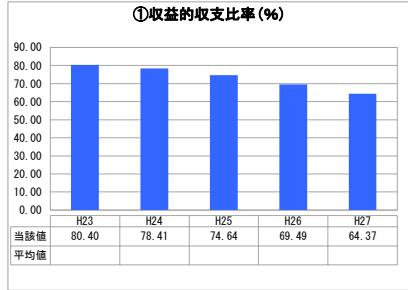
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	20.06	90.00

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,569	49.28	153.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,503	0.51	2,947.06

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



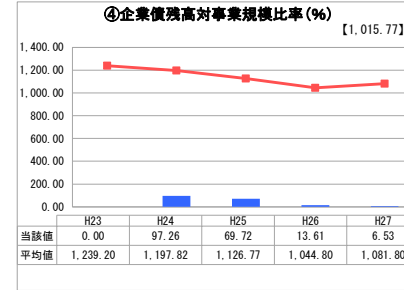
「単年度の収支」



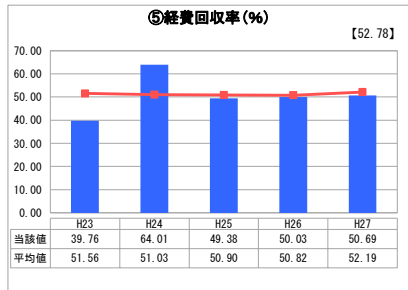
「累積欠損」



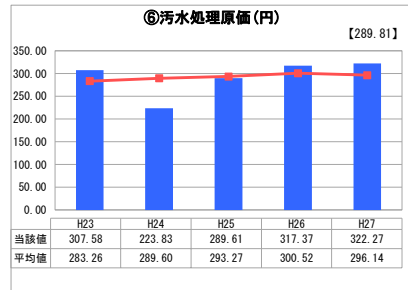
「支払能力」



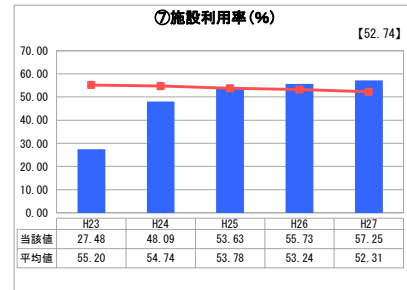
「債務残高」



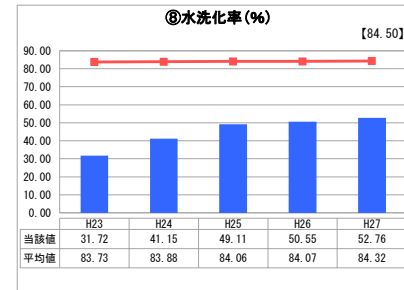
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

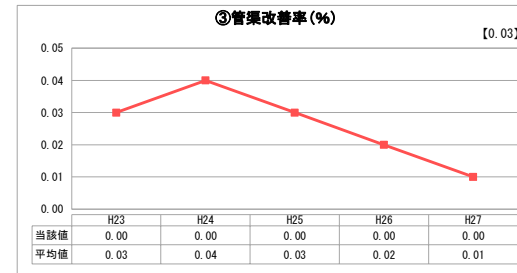
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は年々減少傾向であるが、使用料収入が横ばいであるのに対し、地方債償還金の据置期間が終わり、返済が始まったことが考えられる。企業債残高対事業規模比率が低いのは、一般会計からの繰入金により企業債の償還が賄えており、一般会計繰入金の依存度が高い事業であるためである。汚水処理原価が高まっているのは、人口減高齢化により新規築き込みが減少し、水洗化率が低迷し、有収水量が伸び悩んでいるためである。

2. 老朽化の状況について

玉処理区は施設老朽化のため、公共下水道へ平成30年度までに統合予定である。今須処理区は平成22年度供用開始したばかりであるが、適正な維持管理が必要である。

全体総括

今須処理区にて水洗化率が低いため(52.9%)、町広報紙掲載や個別訪問等接続促進の取り組みを強化する。計画的、効率的な維持管理に努め、ライフサイクルコストの削減に努める。
又、発生汚泥の農地還元を行っており、水資源・有機資源のリサイクルを推進していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。